
アジア証券人フォーラム（ASF）第 13 回年次会合について

平成 20 年 9 月 4 日～6 日

第 13 回アジア証券人フォーラム（Asia Securities Forum：ASF）が、香港証券業協会の主催により、去る 9 月 4 日から 6 日に香港において開催された。

本フォーラムは、日本証券業協会の提唱により、アジア・オセアニア地域の指導的業界人が一堂に会し、同地域における証券界の交流と証券市場の発展に寄与することを目的に、1995 年に発足したものである。

以下に今回のフォーラムの報告として、「第 13 回アジア証券人フォーラムの概要」を掲載する。

----- ○ ----- ○ -----

○ 第 13 回アジア証券人フォーラムの概要

1. 開催日時

自 平成 20 年 9 月 4 日（木）
至 平成 20 年 9 月 6 日（土）

2. 開催場所

中華人民共和国 香港

3. 主催者

香港証券業協会

4. 参加国（地域）

オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、台湾、タイ、ベトナム、カザフスタン、ロシア、エジプトの 15 カ国（地域）からの約 50 名。

参加団体は別紙のとおり。

5. 内容

次の議題について、各国・地域の代表者による報告及び参加者による意見交換が行われた。

（1）主催者及び主催国からの挨拶、講演

主催者である香港証券業協会（HKSA）のケニー・リー会長による開会挨拶のほか、以下のゲスト・スピーカーから講演が行われた。

- ①香港特別行政区財務長官 ジョン C. ツァン氏
- ②香港特別行政区金融サービス財務局長 K.C. チャン氏
- ③香港特別行政区証券先物委員会委員長 エディ C. フォン氏

④香港特別行政区証券先物委員会 CEO マーティン・ウィートリー氏

⑤香港証券取引所会長 ロナルド・アーキュリ氏

⑥香港証券取引所チーフ・エグゼクティブ ポール・チョウ氏

(2) カントリーレポート

各国・地域の経済・金融情勢及び証券市場・証券界の状況が報告された。特筆すべき点は以下の2点。

- ① サブプライム問題は、世界の金融・資本市場に影響を及ぼしているが、アジア市場への影響は小さく、全体としてアジア市場は活力を維持している。
- ② 香港市場については、i) メインランド中国の企業の上場・資金調達の急増、ii) 望ましい税制・市場規制の導入に向けた官民一体となった努力、iii) イスラム金融導入のための制度整備により、世界の主要金融センターに躍進している。

(3) パネルディスカッション

① リスクマネジメント

このパネルでは、サブプライム問題から得るべき教訓として、複雑な金融商品に関するリスク管理のあり方、証券業者と顧客との関係について議論が行われた。本協会から、証券化商品の追跡可能性(Traceability)の確保について検討を行っている、本協会の「証券化商品の販売に関するワーキング・グループ」におけるこれまでの検討状況と、自主規制ルールの策定に向けた今後の検討の見通しについて紹介した。

② アジアのオポチュニティー

このパネルでは、欧米諸国が当分の間サブプライム問題への対処に追われる中で、アジア諸国は、この状況をビジネス・チャンスとして生かすことができるか、そのためには、アジア諸国は、どのように相互に協力していくべきか、について意見交換を行った。

6. 今後の総会

次回年次会合(2009年)はオーストラリアで、次々回(2010年)は中国で開催される予定である。(その後、2011年は台湾、2012年はインドで開催、日本での次回開催は2013年の予定。)

7. 今後の課題

①アジア市場の重要性が増し、ASFとしての発言力を高める必要があること、②メンバーが増えている反面、参加団体・トピックの決定についてのルールが明確でないことが指摘され、ASFの組織の強化、活動の拡充が提案された。これを踏まえ、今後本協会が中心となって、規約・参加承認基準を整備し、会議記録・成果物等の情報共有システムを設けることになった。

以 上

(別紙)

第 13 回 ASF 参加団体

豪州	豪州金融市場協会 (AFMA)
中国	中国証券業協会 (SAC)
香港	香港証券業協会 (HKSA)
インド	インド証券取引所参加者協会 (ANMI)
インドネシア	インドネシア証券業協会 (APEI)
日本	日本証券業協会 (JSDA)
韓国	韓国証券業協会 (KSDA)
マレーシア	マレーシア証券業協会 (ASCM)
フィリピン	フィリピン証券業協会 (PASBDI)
台湾	台湾証券商業同業公会 (TSA)
タイ	タイ証券業協会 (ASC)
ベトナム	ホーチミン市証券協会 (HSC)
カザフスタン	ヴォストーク・キャピタル、カザフスタン国立銀行
ロシア	アンタンタ・ピオグローバル社
エジプト	エジプト証券取引所 (EGX)